

ひらかたししょうがいふくしけいかく だい き ひらかたししょうがいふくしけいかく だい き  
 枚方市障害福祉計画（第6期）枚方市障害児福祉計画（第2期）  
 せいかもくひょう しんちやくじょうきょう  
 成果目標の進 捗 状 況 について

くに きてんしん おおさかふ きてんてき かんが ちと れいわ ねん  
 国が示す「基本指針」、大阪府が示す「基本的な考え方」に基づき、令和3年3  
 がつ さくてい ひらかたししょうがいふくしけいかく だい き せってい しょうがいふくし  
 月に策定された枚方市障 害 福祉計画（第6期）において設定された障 害 福祉サー  
 びす等の種類ごとの活動指標（目 標、実績）を記載しています。令和5年度に達成  
 すべき目 標となっています。

しょうがいふくしけいかく だい き  
 障害福祉計画（第6期）

もくひょう とうもく 目 標とする項目	もくひょう 目 標	じっせき 実績	せつ めい 説 明
(1) 施設入所者の地域移行者数 令和5年度末までに令和元年度末時点の 施設入所者180人の 6%以上が地域生活 に移行することとして見込みます。	11人	11人	令和2年度 7人 令和3年度 3人 令和4年度 1人 ※令和4年度については令和 4年9月時点。
(2) 施設入所者の削減数 令和5年度末までに、令和元年度末時点 における施設入所者180人から 1.6% 以上を削減することとして見込みます。	7人	7人	令和4年度9月時点の数値。
(3) 精神障害者にも対応した地域包括ケア システムの構築	充実	充実	自立支援協議会の精神障害者 地域移行部会を協議の場とし て位置づけ
(4) 精神障害者の精神病 床 から退院後 1年以内の地域における平均生活日数 数値目 標は大阪府の目 標値（国の目 標値 と同値）と同一のものです	316日	331日	平成30年度の数値。（令和 3年度の数値は集 計 中）
(5) 令和5年6月末時点の精神病 床 に おける1年以上の長期入院患者数 大阪府の目 標数値を市町村ごとに按分し た数値を目 標として見込みます。	227人	238人	令和3年度の数値。（令和 4年度の数値は集 計 中）
(6) 精神病 床 における早期退院率 入院後3か月時点 数値目 標は大阪府 の目 標値（国の目 標値と同値）と同一のも のです（(7)～(8)も同様です）	69%	65%	平成30年度の数値。（令和 3年度の数値は集 計 中）
(7) 精神病 床 における早期退院率 入院後6か月時点	86%	82%	平成30年度の数値。 （令和3年度の数値は集 計 中）

(8) 精神病床における早期退院率 入院後1年時点	92%	89%	平成30年度の数値。 (令和3年度の数値は集計中)
(9) 福祉施設から一般就労への移行数 令和5年度における目標数値。 令和元年度の1.27倍以上を府域の 目標として設定し、この目標数値を 市町村ごとに按分された数値を目標とし て見込みます。	105人	83人	令和3年度の実績値。 (令和4年度は暫定値集計中)
(10) 就労移行支援事業を通じた一般就労 への移行数 令和元年度の1.3倍以上 を府域の目標として設定し、この 目標数値を市町村ごとに按分された数値 を目標として見込みます。	60人	58人	令和3年度の実績値 (令和4年度は暫定値集計中)
(11) 就労継続支援A型を通じた一般就労 への移行数 令和元年度の1.26倍以上 を府域の目標として設定し、 この目標数値を市町村ごとに按分された 数値を目標として見込みます。	33人	18人	令和3年度の実績値。 (令和4年度は暫定値集計中)
(12) 就労継続支援B型を通じた一般就労 への移行数 令和元年度の1.23倍以上 を府域の目標として設定し、 この目標数値を市町村ごとに按分された 数値を目標として見込みます。	12人	7人	令和3年度の実績値。 (令和4年度は暫定値集計中)
(13) 就労定着支援事業の利用率 令和5年度における就労移行支援事業等 を通じた一般就労への移行者のうち7割 が就労定着支援事業を利用することを 目標として見込みます。	7割	10割	令和3年度の実績値 (令和4年度の数値は集計前)

<p>(14) 就労定着支援事業による1年後の職場定着率</p> <p>令和5年度における就労定着支援事業で支援を開始した時点から1年後の就労定着率が8割以上の事業所が全体の9割以上となることを目標として見込みます。</p>	<p>9割以上</p>	<p>8割</p>	<p>令和3年度の実績値 (令和4年度の数値は集計前)</p>
<p>(15) 就労継続支援(B型)事業所における平均工賃額</p> <p>令和5年度における目標数値。市内就労継続支援(B型)事業所37か所(令和2年4月1日現在)において設定された目標工賃の平均額13,155円に10%乗じた額を上乗せした額を見込みます。</p>	<p>15,000円</p>	<p>12,106円</p>	<p>令和3年度末の数値。 (令和4年度の数値は集計中)</p>
<p>(16) 相談支援体制の充実・強化</p> <p>総合的・専門的な相談支援の実施及び地域の相談支援体制の強化を実施する体制を確保するため、令和5年度末までに、基幹相談支援センターを設置することとされています。障害者のニーズの多様化を踏まえ、きめ細やかで適切な支援のため、地域の実情に応じた関係機関の明確な役割分担と有機的な連携とといった相談支援体制の充実・強化に向けて取り組みます。</p>	<p>充実</p>	<p>充実</p>	<p>地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導助言件数 9件 地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数 5件 地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数 13件</p>
<p>(17) 障害福祉サービスの質の向上を図るための体制構築</p> <p>令和5年度末までに、不正請求の未然防止等の観点から報酬の審査体制の強化等の取り組み、指導権限を有する者との協力連携、適正な指導監査等の実施に取り組みます。</p>	<p>充実</p>	<p>充実</p>	<p>障害福祉サービス等に係る各種研修の参加人数18人 審査支払システム等での審査結果を分析・活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制の有無及びそれに基づく実施回数 6回 障害福祉サービス事業所等に対する指導監査の結果の共有回数 2回</p>

しょうがいじふくしけいかく だい き  
障害児福祉計画（第2期）

もくひょう 目標とする項目	もくひょう 目標	じっせき 実績	せつ 明
<p>(1) 重層的な地域支援体制の構築</p> <p>市立ひらかた子ども発達支援センターを本市における発達上支援が必要な児童のため支援機関の拠点とし、同様に支援機関として事業を実施している市内の事業所との連携を通じて、重層的な地域支援体制の充実に努めます。 (充実を図る)</p>	<p>じゅうじつ 充実</p>	<p>じゅうじつ 充実</p>	<p>関係機関との連携を図りながら、支援や配慮を必要とする子どもたちに対する相談支援や、保育所（園）に対する巡回相談・保育相談などに取り組み、地域における障害のある子どもたちへの支援を行った。</p>
<p>(2) 主に重症心身障害児を支援する事業所の確保</p> <p>令和5年度末における目標数値。 児童発達支援、放課後等デイサービス事業所の設置状況を踏まえて見込みます。</p>	<p>じどうはつたつ 児童発達支援 7か所 ほうかごとう 放課後等 デイスービス デイサービス 9か所</p>	<p>じどうはつたつ 児童発達支援 7か所 ほうかごとう 放課後等 デイスービス デイサービス 11か所</p>	<p>令和4年度末の数値。</p>
<p>(3) 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置</p>	<p>せっち 設置</p>	<p>せっち 設置</p>	<p>平成31年4月1日付で設置済み。 令和5年2月に関係機関と医療的ケア児等の支援について事例検討などの協議を行った。</p>